



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 東洋刃物株式会社

上場取引所 東

コード番号 5964 URL <http://www.toyoknife.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清野 芳彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 久保 雅義

TEL 022-358-8911

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第2四半期 | 2,842 | 11.6 | 258 | 107.9 | 222 | 139.5 | 223 | 202.3 |
| 30年3月期第2四半期 | 2,545 | 0.5 | 124 | 8.7 | 92 | 83.3 | 73 | 105.1 |

(注)包括利益 31年3月期第2四半期 196百万円 (97.4%) 30年3月期第2四半期 99百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第2四半期 | 145.54 | 124.43 |
| 30年3月期第2四半期 | 48.15 | 42.45 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 31年3月期第2四半期 | 6,775 | 1,931 | 28.5 | 1,257.02 |
| 30年3月期 | 6,697 | 1,750 | 26.0 | 1,139.01 |

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 1,929百万円 30年3月期 1,748百万円

(注)『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 31年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 31年3月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,700 | 7.7 | 460 | 47.0 | 400 | 53.9 | 380 | 54.1 | 247.57 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 31年3月期2Q | 1,577,300 株 | 30年3月期 | 1,577,300 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 31年3月期2Q | 42,370 株 | 30年3月期 | 42,340 株 |
|----------|----------|--------|----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 31年3月期2Q | 1,534,950 株 | 30年3月期2Q | 1,534,960 株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成30年12月3日(月)に個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算補足説明資料を開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|-----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | P4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P9 |
| (追加情報) | P9 |
| (セグメント情報等) | P9 |
| (重要な後発事象) | P10 |
| 3. その他 | P11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和政策が維持されるなか、底堅い企業収益を背景に設備投資も好調に推移し、良好な雇用環境が個人消費を押し上げました。海外経済は、好調な米国経済がけん引し上振れの成長も見込まれておりますが、一方で、米国の政策金利の利上げによる新興国通貨への影響や、米中貿易摩擦にともなう不確実性の高まりが懸念される状況にあります。

当社グループにおきましては、重点品種の営業活動を推進するなか、IT関連業種の需要を積極的に取り込み、主力の情報産業用刃物が好調に推移したことに加え、鉄鋼用刃物や産業用機械及び部品も堅調であり、当第2四半期連結累計期間における売上高は、28億42百万円（前年同四半期比11.6%増）となりました。損益面におきましては、生産性の改善活動にともなう収益性の向上や、業務改善による各種経費の削減に一定の効果があり、営業利益2億58百万円（前年同四半期比107.9%増）、経常利益2億22百万円（前年同四半期比139.5%増）、平成30年2月13日に発生しました国内子会社の火災にかかる受取保険金94百万円を特別利益として、中国子会社の持分譲渡契約締結による事業整理損失引当金繰入額36百万円を特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益2億23百万円（前年同四半期比202.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ア) 機械刃物及び機械・部品

当セグメントにおきましては、積極的な受注活動により主力の情報産業用刃物が堅調に推移したことに加え、鉄鋼用刃物や産業用機械及び部品も伸長した結果、製紙パルプ用刃物、その他に分類される刃物関連の鈍化はあったものの売上高26億20百万円（前年同四半期比12.9%増）、セグメント利益4億26百万円（前年同四半期比49.3%増）となりました。

イ) 緑化造園

当セグメントにおきましては、好調に推移している管理業務に対し造園工事関連の受注減の影響もあり、売上高2億21百万円（前年同四半期比1.4%減）となりましたが、原価低減への取り組みによる効果もありセグメント利益は22百万円（前年同四半期比113.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%増加し、47億55百万円となりました。これは主として現金及び預金の増加などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、20億19百万円となりました。これは主に投資有価証券などの投資その他の資産の減少などによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し、67億75百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、29億64百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、18億79百万円となりました。これは主として長期借入金の減少などによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、48億43百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて10.4%増加し、19億31百万円となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益計上などによる利益剰余金の増加などによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ1億25百万円増加し、19億54百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は2億61百万円(前年同四半期比84.3%増)となりました。これは主に仕入債務の減少額1億13百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益2億80百万円、減価償却費88百万円などがあったことを反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は58百万円(前年同四半期は62百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出60百万円などがあったことを反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は70百万円(前年同四半期は77百万円の減少)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出50百万円などがあったことを反映したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月2日発表の通期の業績予想に変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,988 | 2,116 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,268 | 1,189 |
| 電子記録債権 | 487 | 513 |
| 製品 | 243 | 223 |
| 仕掛品 | 352 | 351 |
| 原材料及び貯蔵品 | 314 | 282 |
| その他 | 23 | 80 |
| 貸倒引当金 | △2 | △2 |
| 流動資産合計 | 4,675 | 4,755 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,390 | 1,420 |
| 無形固定資産 | 31 | 29 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産 | 611 | 582 |
| 貸倒引当金 | △11 | △12 |
| 投資その他の資産合計 | 599 | 570 |
| 固定資産合計 | 2,021 | 2,019 |
| 資産合計 | 6,697 | 6,775 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 727 | 613 |
| 短期借入金 | 1,697 | 1,697 |
| 未払法人税等 | 34 | 67 |
| 賞与引当金 | 103 | 117 |
| 火災損失引当金 | 17 | 11 |
| 事業整理損失引当金 | - | 36 |
| その他 | 410 | 421 |
| 流動負債合計 | 2,989 | 2,964 |
| 固定負債 | | |
| 転換社債型新株予約権付社債 | 200 | 200 |
| 長期借入金 | 750 | 700 |
| 退職給付に係る負債 | 958 | 952 |
| 役員退職慰労引当金 | 20 | 21 |
| 環境対策引当金 | 19 | - |
| その他 | 7 | 5 |
| 固定負債合計 | 1,956 | 1,879 |
| 負債合計 | 4,946 | 4,843 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 500 | 500 |
| 資本剰余金 | 354 | 354 |
| 利益剰余金 | 987 | 1,195 |
| 自己株式 | △31 | △31 |
| 株主資本合計 | 1,811 | 2,019 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 63 | 52 |
| 為替換算調整勘定 | 33 | 11 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △160 | △153 |
| その他の包括利益累計額合計 | △62 | △89 |
| 非支配株主持分 | 2 | 2 |
| 純資産合計 | 1,750 | 1,931 |
| 負債純資産合計 | 6,697 | 6,775 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 2,545 | 2,842 |
| 売上原価 | 1,848 | 1,972 |
| 売上総利益 | 697 | 869 |
| 販売費及び一般管理費 | 573 | 611 |
| 営業利益 | 124 | 258 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 2 |
| 受取配当金 | 3 | 3 |
| 持分法による投資利益 | 1 | - |
| 固定資産賃貸収入 | 3 | 3 |
| 環境対策引当金戻入額 | - | 14 |
| その他 | 4 | 19 |
| 営業外収益合計 | 14 | 43 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 24 | 23 |
| 持分法による投資損失 | - | 1 |
| 製造休止損失 | - | 25 |
| シンジケートローン手数料 | 14 | 14 |
| その他 | 7 | 14 |
| 営業外費用合計 | 46 | 79 |
| 経常利益 | 92 | 222 |
| 特別利益 | | |
| 受取保険金 | - | 94 |
| 特別利益合計 | - | 94 |
| 特別損失 | | |
| 事業整理損失引当金繰入額 | - | 36 |
| 特別損失合計 | - | 36 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 92 | 280 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 22 | 61 |
| 法人税等調整額 | △3 | △4 |
| 法人税等合計 | 18 | 57 |
| 四半期純利益 | 74 | 223 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 0 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 73 | 223 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 74 | 223 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18 | △11 |
| 為替換算調整勘定 | △0 | △8 |
| 退職給付に係る調整額 | 6 | 6 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 1 | △13 |
| その他の包括利益合計 | 25 | △26 |
| 四半期包括利益 | 99 | 196 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 99 | 196 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | 0 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 92 | 280 |
| 減価償却費 | 76 | 88 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 6 | 0 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 30 | 13 |
| 火災損失引当金の増減額 (△は減少) | - | △6 |
| 事業整理損失引当金の増減額 (△は減少) | - | 36 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 5 | 9 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 0 | 0 |
| 環境対策引当金の増減額 (△は減少) | - | △19 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4 | △5 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △1 | 1 |
| 支払利息及び社債利息 | 24 | 23 |
| 受取保険金 | - | △94 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △166 | 52 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △15 | 51 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 80 | △113 |
| その他 | 51 | △108 |
| 小計 | 179 | 211 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6 | 6 |
| 保険金の受取額 | - | 94 |
| 利息の支払額 | △19 | △22 |
| 法人税等の支払額 | △24 | △28 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 141 | 261 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △83 | △86 |
| 定期預金の払戻による収入 | 83 | 84 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △64 | △60 |
| その他 | 2 | 3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △62 | △58 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の返済による支出 | △6 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | △65 | △50 |
| 配当金の支払額 | - | △15 |
| その他 | △6 | △4 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △77 | △70 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1 | △6 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △0 | 125 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,803 | 1,829 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,803 | 1,954 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(事業整理損失引当金の計上基準)

海外事業の一部撤退に伴い発生すると予想される損失に備えるため、将来の損失見込額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | |
|-----------------------|-------------|------|-------|
| | 機械刃物及び機械・部品 | 緑化造園 | 計 |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,321 | 224 | 2,545 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 2,321 | 224 | 2,545 |
| セグメント利益 | 285 | 10 | 296 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|------|
| 報告セグメント計 | 296 |
| セグメント間取引消去 | 0 |
| 全社費用(注) | △172 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 124 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | |
|-----------------------|-------------|------|-------|
| | 機械刃物及び機械・部品 | 緑化造園 | 計 |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,620 | 221 | 2,842 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 0 | 0 |
| 計 | 2,620 | 221 | 2,842 |
| セグメント利益 | 426 | 22 | 449 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|------|
| 報告セグメント計 | 449 |
| セグメント間取引消去 | 0 |
| 全社費用(注) | △191 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 258 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

1. 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 生産高(百万円) | 前年同四半期比(%) |
|-------------|----------|------------|
| 機械刃物及び機械・部品 | 2,575 | 10.2 |
| 緑化造園 | 221 | △1.4 |
| 合 計 | 2,796 | 9.1 |

- (注) 1 金額は販売価格であり、セグメント間の取引については相殺処理しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高(百万円) | 前年同四半期比(%) | 受注残高(百万円) | 前年同四半期比(%) |
|-------------|----------|------------|-----------|------------|
| 機械刃物及び機械・部品 | 2,582 | △1.9 | 1,362 | 19.7 |
| 緑化造園 | 290 | 0.8 | 108 | 24.3 |
| 合 計 | 2,872 | △1.7 | 1,470 | 20.0 |

- (注) 1 セグメント間の取引については相殺処理しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 販売高(百万円) | 前年同四半期比(%) |
|-------------|----------|------------|
| 機械刃物及び機械・部品 | 2,620 | 12.9 |
| 緑化造園 | 221 | △1.4 |
| 合 計 | 2,842 | 11.6 |

- (注) 1 セグメント間の取引については相殺処理しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) その他

1. 当第2四半期累計期間製品別売上高及び前年同四半期並びに前事業年度との比較(個別)

| 区分 | 前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | | 当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) | | 前事業年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日) | |
|---------------|---|------------|---|-------------|--------------------------------------|------------|
| | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) |
| 鉄鋼用刃物 | 347 (32) | 16 | 409 (44) | 16 | 745 (71) | 16 |
| 合板用刃物 | 76 (19) | 3 | 88 (26) | 4 | 163 (44) | 4 |
| 製紙パルプ用 刃物 | 323 (11) | 15 | 327 (14) | 13 | 638 (20) | 14 |
| 情報産業用刃 物 | 652 (42) | 29 | 825 (82) | 33 | 1,424 (95) | 30 |
| 製本用刃物 | 32 (4) | 1 | 35 (8) | 1 | 68 (6) | 1 |
| 産業用機械及 び部品 | 500 (26) | 22 | 558 (45) | 22 | 1,048 (44) | 22 |
| その他 | 314 (27) | 14 | 284 (24) | 11 | 606 (58) | 13 |
| 合 計 | 2,247 (165) | 100 (7) | 2,528 (247) | 100 (10) | 4,695 (342) | 100 (7) |

(注) 売上高金額欄の()は輸出分であります。

2. 当第2四半期累計期間製品受注高及び前事業年度との比較並びに当第2四半期累計期間受注残高(個別)

| 区分 | 前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | | 当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) | | 前事業年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日) | | 当第2四半期 会計期間末 受注残高 (平成30年9月 30日現在) |
|---------------|---|--------|---|--------|--------------------------------------|--------|---|
| | 金額 (百万円) | 構成比(%) | 金額 (百万円) | 構成比(%) | 金額 (百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) |
| 鉄鋼用刃物 | 390 | 16 | 399 | 16 | 763 | 18 | 246 |
| 合板用刃物 | 83 | 3 | 91 | 4 | 177 | 4 | 38 |
| 製紙パルプ用 刃物 | 328 | 13 | 351 | 14 | 580 | 13 | 136 |
| 情報産業用刃 物 | 764 | 30 | 828 | 34 | 1,249 | 29 | 360 |
| 製本用刃物 | 25 | 1 | 23 | 1 | 70 | 2 | 9 |
| 産業用機械及 び部品 | 646 | 25 | 467 | 19 | 895 | 21 | 436 |
| その他 | 307 | 12 | 303 | 12 | 587 | 13 | 90 |
| 合 計 | 2,546 | 100 | 2,464 | 100 | 4,325 | 100 | 1,317 |